

Horizon 2020ネットワークの提案

科学・技術・イノベーションにおける日欧連携促進に向けての国内主要大学、
研究機関のRAとの連携
Horizon 2020 National Contact Pointからの提案

松本 宏・市岡 利康・ステイン ランブレヒト

日欧産業協力センター

E-mail: ncp-japan@eu-japan.gr.jp

Horizon 2020におけるNational Contact Point (NCP)

- Horizon 2020の実施にあたり、公平で一貫性のあるサポートを実現するためにナショナルコンタクトポイント(NCP)の制度が設けられた。
- 高い専門性を有するサポートを国ごとに提供することがH2020の実施において非常に重要とされる。
- H2020のプログラムを広く知らしめ、専門性を持ったアドバイスをを行い、実際に役立つガイダンスを提供することにより、分野、専門性にかかわらず、可能性のあるすべての人の参加を促進することを目的とする。
- 日本では2013年11月に日欧産業協力センターが日本で初めてNCPに指名され、同月の日EU定期首脳会議の共同声明でも言及された。
- 2014年度から経済産業省からNCP事業が予算化され正式に開始された。

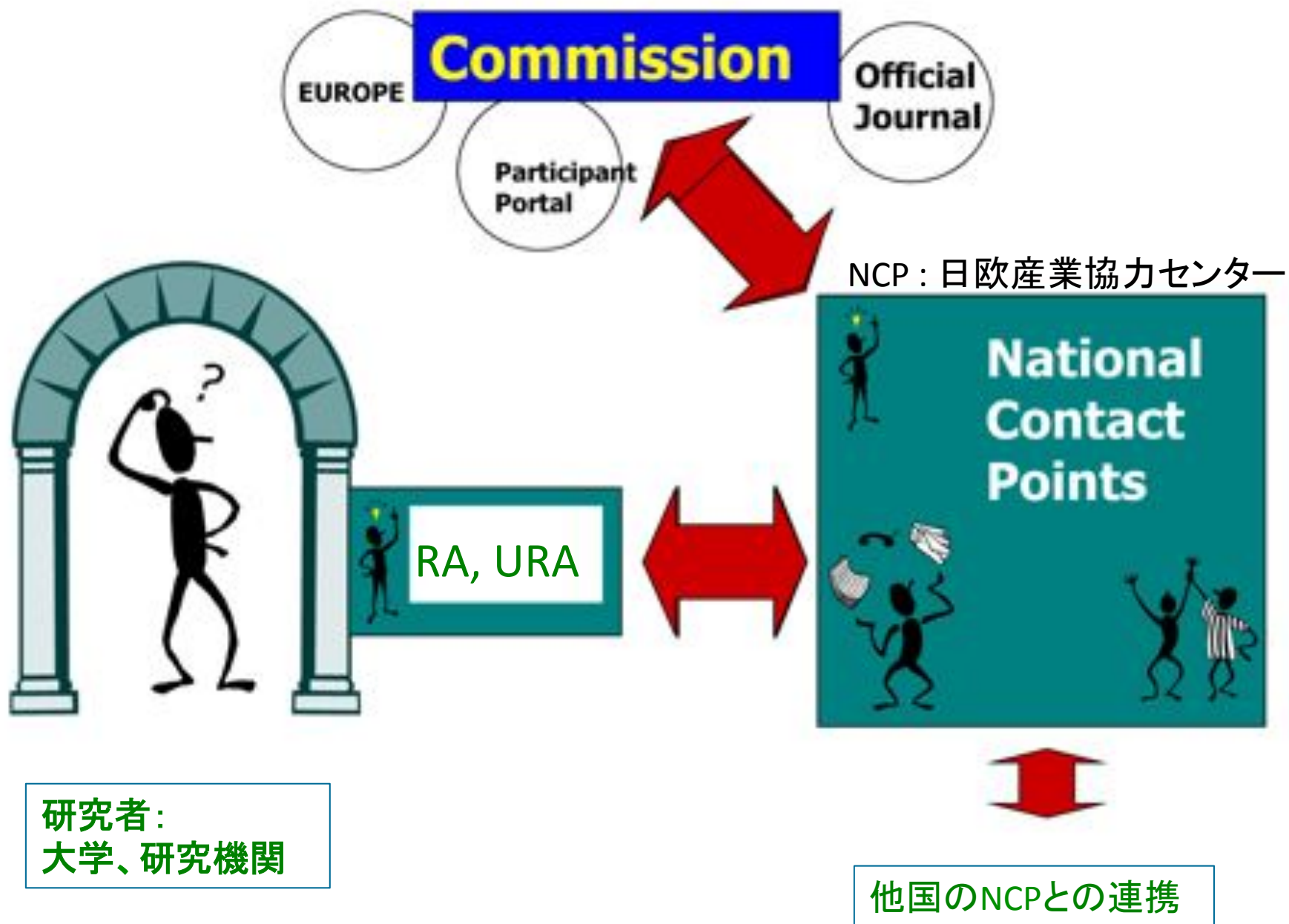
NCPの役割(欧州委員会のガイドラインより)

- 日本にローカライズした Horizon 2020 のウェブサイト開設と関連する事業へのリンク
- Horizon 2020 に関する日本での情報セミナー及びパートナー探しのマッチングイベント等の開催
- Horizon 2020 への参加促進のため、研究者や研究開発機関、特に中小企業への支援を行う
- Enterprise Europe Network (EEN) との連携、相互支援体制の確立
- 欧州委員会の関連部署との連携
- 個別分野のコンタクトポイント候補の特定と、各コンタクトポイントが全分野に渡って最低限の知識を身につけるためのトレーニングコースの企画・運営
- 必要に応じ Horizon 2020 のみでなく関連するプログラム (COSME, Eureka, COST 等) の情報提供

NCPの役割(日本における独自色)

- 欧州域内及び域外におけるコンタクトポイントの設置形態及び運営に関する調査分析
- 単なる Horizon 2020 の NCP ではなく、日欧イノベーション・科学・技術コーディネーター/コンタクトポイントとしての双方向の情報提供及びマッチング（EENに関しては既に双方向サービスを提供）
- 日本の関係機関へのレクチャー、政策立案への必要に応じたインプット
- 欧州の特定国の情報や特定国との二国間協力や多国間協力に関する知見の蓄積と提供
- 特に標準化機関その他への取次ぎ、各種会合の設定

欧州委員会、Horizon 2020



研究者：
大学、研究機関

他国のNCPとの連携

国内主要大学、研究機関のRAとの連携 - Horizon 2020ネットワークの提案 -

- 公募情報等、H2020最新情報の配信（定期、非定期）
- Horizon 2020日本語ウェブサイトなどにより関連情報の常時提供
- 応募のためのトレーニングコース、ワークショップの開催
- Horizon 2020のプログラム、成果を紹介するセミナー等を要望などに基づき、各大学、研究所などで開催。
- 各大学、研究機関の最新の研究成果、進捗状況などもネットワークを通じて収集し、欧州側にも発信。